

バイオマス取組事例概要

《社団法人日本有機資源協会会長賞》

- ・応募主体 東濃ひのき製品流通協同組合
- ・都道府県・市町村 岐阜県加茂郡白川町
- ・取組分野 木質直接燃焼

① 取組概要

製材工場残材料、建設発生木材を燃焼し、電力及び蒸気を利活用。RPS法認定済み。

東濃ひのき製品流通協同組合は、東濃桧を産出する地域の木材協同組合として、製材、プレカット加工、防虫防蟻加工や製品流通センターまで多様な活動を展開している。

近年の循環型社会の構築及び環境保全のための規制強化を受け、木材関連産業から排出される製材端材や樹皮などの木質廃材の適正処理が課題となり、木材廃材の処理及び有効利用について積極的な研究を重ねてきた。

○ 平成12年度

「木煙トリートメント推進会議」発足

地域の木材関係業者等が木質系廃棄物の処理及び有効利用等について検討を行う。

○ 平成13年度

「木質系廃棄物リサイクル推進研究会(岐阜県主体)」に参画

地域の木質系バイオマスの賦存量の推定と、有効利用について検討を行い、北欧等の先進地視察。

○ 平成16年3月

森林資源活用センター「森の発電所」竣工

木質系廃棄物を燃焼させ、発生する蒸気を発電及び乾燥に利用。



施設全景

施設規模 600kw
使用原料 10,000t/年